

平成29年度事業計画

1. 基本方針

わが国の65歳以上の高齢化率は、H27年に団塊の世代が仲間入りして、総人口の26.7%となり、超高齢社会に向け突き進んでいます。平成28年度版『高齢社会白書』において、「高年齢者の多様な就業ニーズに対応し、臨時的・短期的又は軽易な就業を希望する者に対して、意欲や能力に応じた就業機会、社会参加の場を総合的に提供するシルバー人材センター事業について、各センターにおける就業機会の拡大・会員拡大などの取組を支援することにより、各シルバー人材センターの会員が身近な地域で安心して働くことができるよう多様な就業機会を提供するとともに、適切な運営の確保を図ってきた。」とされており、シルバー事業の役割がますます重要となり、大いに期待されているところです。

しかし、シルバー事業の実績をみると、受注件数は伸びているものの、全体的には会員数の減少など、停滞傾向にあります。

今後は、センターを通じて就業を希望する方々、またセンターへの仕事を依頼される高齢者が増加して行くように取り組み、その受け皿としての機能を十分果たせるよう、また高齢者が自ら培った知識や経験・ノウハウなどを生かし、元気に働いて行けるように、会員、役職員が一丸となって就業機会の確保及び職域の拡大を図っていきます。

2. 基本事業

当センターは、定年退職等で職場を離れた高齢者が「福祉の受け手から社会の担い手へ」となることを目指して、『自主・自立・共働・共助』の理念と、「働く喜び社会参加の輪を上げよう！」のスローガンの下、本年度も引き続き事業の活性化を図るとともに以下の基本事業を推進します。

①普及啓発活動

「シルバー人材センター事業普及促進月間（10月1日～31日）」等「シルバーの日」を中心に各種ボランティア活動を実施、ホームページ等の活用等でシルバー事業の基本的な理念及び仕組みを広く地域社会に浸透させるとともに、個々の会員が『自主・自立・共働・共助』の基本理念をよく理解し、本事業に対する意識を啓発するための普及啓発活動に努める。

②就業機会の開拓

臨時的かつ短期的な就業及び軽易な業務の確保と拡大に努める。

③会員の増強

健康で豊かな知識、技能を活かせる会員の増強に努める。

但し、入会にあたってはセンターの趣旨に賛同し、新たな職種にチャレンジしていただくよう協力をお願いする。

④研修会・講習会の開催及び参加

ア) 利用者の多様なニーズに対応するため、会員に対する知識、技能等の向上を目的とする計画的な研修会・講習会を開催し、能力開発に努める。

イ) 日常の就業に役立てる為、連合会の開催する高齢者活躍人材育成講習会、研修会等に協力・参加する。

⑤安全・適正就業に関する事業の実施徹底

(公社) 全国シルバー人材センター事業協会が実施する「シルバー人材センター安全・適正就業強化月間(7月1日～31日)」等に積極的に参加し、あらゆる機会を通じて会員の安全就業に努めるとともに安全適正就業委員会との連携の下、『事故ゼロ』を目標に、安全かつ適正な就業を推進する。

⑥会員組織の活用及び機能の充実

会員による事業参画を推進し、自主的、自発的な活動、参加意識や連帯感を高め、地域班・職群班組織の機能充実に努める。

⑦社会奉仕活動の実施

公益法人として「できることを」「できる範囲で」行うボランティア活動の実施と会員さんへの協力依頼。

⑧職業紹介事業の実施

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に則り、臨時的・短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に職業紹介事業を行う。

⑨高齢者スキルアップ・就業促進事業(旧:シニアワークプログラム地域事業)への協力

高齢者求職者等を対象に、雇用就業機会の確保を促進することを目的とした、(公社)香川県シルバー人材センター連合会が開催する、技能講習会に協力する。

⑩労働者派遣事業の拡充

労働者派遣事業の拡充に向けて(公社)香川県シルバー人材センター連合会と連携し、現役世代サポート事業の取組を充実する。

⑩事業内容等の情報提供

業務内容や財務諸表等の資料をホームページ等に掲載し、公益法人が行うべき市民等への情報公開を行う。

以上の11項目を基本事業に掲げ、センターと会員及び会員相互でコミュニケーションを十分に図りながら、以下の施策を積極的に推進する。

3. 重点施策

① 就業機会の開拓

- ア) ホームページ等の活用により、更なる臨時的かつ短期的な就業及び軽易な業務の確保と拡大に努める。
- イ) 多様な就業ニーズに対応できるように、地域班、職群班の活動による会員の事業運営参画の推進を図り、会員による普及啓発、並びに就業開拓等を推進する。
- ウ) センター独自チラシの配布等により、業務の拡大に努める。
- エ) (公社) 全国シルバー人材センター事業協会、(公社) 香川県シルバー人材センター連合会と緊密な連携の下、就業動向、情報等の収集に努める。また商工会議所等にも協力をお願いする。

② 会員の増強

健康で豊かな知識、技能を活かせる高齢者の入会を促進すると共に、ホームページや市広報を利用し、会員募集を行う。
会員自ら会員増加の意識を持ち、友人・近隣に「入会声掛けを実施」勧誘に努める。

③ 安全・適正就業に関する事業の実施

- ア) 安全就業の徹底を図るため、安全適正就業委員会を定期に開催し、現実に即した安全就業基準に見直しし、安全かつ適正な就業を最優先課題として取り組む。
- イ) 安全就業基準及び作業別安全基準の遵守・徹底を図り、「事故ゼロ」を目標に安全巡回パトロールを実施する。
- ウ) 関係各団体の開催する安全・適正就業会議、研修会等に積極的に参加し、知識の向上に努める。
- エ) 事務局職員又は見積もり専門員の会員が仕事の下見・見積もりをお

こなつて危険な場所・高所での作業の受注を回避する。

オ) 作業に取り掛かる前に職群班長のもと基本となる健康チェックや服装のチェック・防護具着用に気を配り、会員同士声掛けを行うなど相互に安全意識の確認に努める。

④ 会員組織の活用及び機能の充実

ア) 地域班

センターと会員との緊密な連絡体制を整えるために地区委員長のもと地域班長とともに、地区別報告会を予定する。具体的にセンター情報を班員に伝え、班員の要望・意見を聞き、センター運営に反映する。

イ) 職群班

会員の自主的、自発的な活動を促し、事業の拡大発展を効果的に高めるため、職群班の連携、作業スケジュール調整、安全と適正就業の徹底を図る。

職群班長を中心としたグループの円滑な班活動が出来るよう活動経費の支給や、技能の研修会を実施する。

⑤ 労働者派遣事業

高齢者の能力を生かした多様な就業機会の確保と就業の選択肢の拡大、就業の適正化のため派遣契約就業に努める。

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として

人手不足分野・現役世代を支える分野の仕事の育児、教育、学童保育関係に関心のある会員さんを募って勉強会を行いながら積極的に参画していく。

⑥ 介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険法の規定により三豊市訪問型サービスAの委託事業の推進に協力する。昨年からスタートした家事援助サービスで高齢者との同居世帯において生活援助などのサポートを行います。

内容的には女性会員を中心にした高齢者の介護予防や自立支援に資する事業であつて、ケアマネージャーやご家族との打ち合わせの後、掃除、ゴミ出し、買い物等の短時間・軽作業の生活援助を行う。

また、地域包括ケアの面においても「あんしん見守りネットワーク」
として普段の作業の延長線上で空家の見守りや近隣の高齢者への声かけなど、高齢者等徘徊SOSネットワーク等にも協力をしていく。